

科目名	ケーススタディ（公共政策 イシュー／アジェンダ／オルタナティブ）
担当者	藤井浩司
配当学期	春学期
単位	2単位
授業概要	<p>本講義の目的は、既に成立した政策や、将来講じられるべき政策に関し、どのような政策選択が可能となるかという視点から、政策立案に必要な政策理論の構築、争点の認知と課題の明確化、政策目標の設定、選択肢の比較分析、政治的実行可能性の精査、政策案の確定等のフェイズを概括的に体験することにある。具体的には、中央政府の政策担当者を講師として招聘し、個別の政策事例を用いて、グループディスカッション形式による講師と受講生のインタラクティブなケーススタディをおこなう。各ケーススタディは1セット4回に分けて構成される。</p> <p>[セットの構成]</p> <p>①セッティング：講師からブリーフィングと課題の提示・質疑応答</p> <p>②ディスカッション1：課題に関するグループ毎のディスカッション</p> <p>③ディスカッション2：グループディスカッション</p> <p>プレゼン概要を科目担当者へメール発信（前日まで）</p> <p>④プレゼンテーション：グループ毎のプレゼンテーション・質疑応答</p> <p>講師による講評と科目担当教員の総括</p>
授業の到達目標	政策立案に必要な理論と実際に関する学習と理解
授業計画	<p>(1)オリエンテーション</p> <p>(2)セッティング</p> <p>(3)ディスカッション1</p> <p>(4)ディスカッション2</p> <p>(5)プレゼンテーション</p> <p>(6)セッティング</p> <p>(7)ディスカッション1</p> <p>(8)ディスカッション2</p> <p>(9)プレゼンテーション</p> <p>(10)プロジェクト期間</p> <p>(11)セッティング</p> <p>(12)ディスカッション1</p> <p>(13)ディスカッション2</p> <p>(14)プレゼンテーション</p> <p>(15)総括・まとめ</p>
教科書	特にない
参考文献	講義の中で適宜指示、あるいは必要な資料を配布する

成績評価方法	評価基準	
	試験 %	
	レポート %	
	平常点評価 70%	受講態度、グループワーク・プレゼンテーション・質疑 応答などへの参加貢献度などにより総合評価
	その他 30%	欠席回数が30%以上の場合、成績評価は0（ゼロ）。
関連 URL		
備考	授業計画の詳細内容、日程については講義初日時に示す。	